

令和2年度 八郎潟町新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金事業評価

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	担当課	経済対策との関係	事業始期～終期	総事業費（実績）		事業実績 (円)	事業実績に基づく効果及び評価
						千円	臨時交付金充当額 千円		
1	中小企業事業継続支援金交付事業	①地域経済の好循環を図る ②前年対比で売上げが2割以上落ち込んだ事業者に対し、一律30万円を支給 ④社会福祉法人、病院、金融機関、宗教施設等を除く町内事業者	産業課	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.5～R2.7	38,400	38,400	中小企業事業継続支援金交付金 38,400,000円（128事業所×30万円）	支援金交付件数は全128件であり、売上高が減少した多くの事業者に対し、事業継続への後押しができた。（R3年度に廃業した事業所は1件（要因不明））であり、支援金交付事業効果はあったものと考えている。
2	地域商品券交付事業	①地域経済の好循環を図る ②利用対象事業所を町内限定とし、地域商品券を交付 第1弾：町民一人当たり3千円分（1千円×3枚） 第2弾：全町民に一人当たり1万円分（1千円×10枚） ③第1弾は高校生を除く18歳以上の町民に交付し、第2弾は10月1日現在で町に住民票登録している全町民に交付	産業課	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.5～R3.3	75,664	75,664	地域商品券換金 70,637,000円 第1弾：15,099,000円（15,099枚） 交付15,324枚（換金率98.5%） 第2弾：55,538,000円（55,538枚） 交付56,370枚（換金率98.5%） 事務費 5,027,158円 会計年度任用職員報酬 447,772円 同通勤費 6,000円 職員時間外勤務手当 156,359円 一般消耗品 98,856円 印刷製本費 1,679,634円 郵便料 1,808,022円 換金・振込手数料 830,313円	地域商品券の消費により、町内経済を下支えすることができた。 利用対象事業所（町内限定）は第1弾・第2弾とも80事業所が指定され、地域商品券が使用された事業所は第1弾で66事業所（82.5%）、第2弾では67事業所（83.8%）となった。地域経済の好循環を図る目的はほぼ達成されたものと考えている。 なお、第2弾は地域商品券利用開始が11月からということもあり、石化燃料系の事業所で全体の1/4の地域商品券が使用されている。
3	子育て支援臨時交付金支給事業	①子育て世帯の生活を支援 ②子育て世帯の生活を支援するため、一律10万円を支給する ③令和2年4月28日から令和3年2月28日までに出生した子の保護者	町民課	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.7～R3.3	1,900	1,900	子育て支援臨時交付金 1,900,000円（19人×10万円）	コロナ禍における乳幼児を抱える子育て世帯の経済的負担軽減につながったとともに、子育てに対する不安払拭の一助となった。
4	子育て世帯応援給付金事業	①子育て世帯の生活を支援 ②児童手当受給世帯に1万円を支給 ③児童手当受給世帯	福祉課	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.5～R2.8	4,840	4,840	子育て世帯応援給付金 4,840,000円（484世帯×1万円）	コロナ禍の影響を受けた児童手当受給世帯（484世帯）に給付金を交付することにより、当該世帯の生活を支援することができた。
5	子育て世帯応援給付金事業	①子育て世帯の生活を支援 ②児童扶養手当受給世帯に2万円を支給 ③児童手当受給世帯（ひとり親世帯）	福祉課	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.5～R2.6	720	720	子育て世帯応援給付金 720,000円（36世帯×2万円）	コロナ禍の影響を受けた児童扶養手当受給世帯（36世帯）に給付金を交付することにより、当該世帯の生活を支援することができた。

令和2年度 八郎潟町新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金事業評価

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	担当課	経済対策との関係	事業始期～終期	総事業費（実績）		事業実績 (円)	事業実績に基づく効果及び評価
						千円	臨時交付金 充当額 千円		
6	子育て世帯応援給付金事業	①子育て世帯の生活を支援 ②認定こども園保育料を減免 ③0～2歳児の認定こども園在園保護者	福祉課	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.5～R3.3	5,780	5,780	認定こども園保育料 (R2.4～R3.2月分) 5,780,325円 (園児35名分) 支払い先は認定こども園	コロナ禍の影響を受けた認定こども園に在園する対象世帯の保育料について、本来利用者世帯が施設に負担するところを町が保育料助成という趣旨で施設に支払った。コロナ禍にあって施設利用の保護者の経済・生活が不規則になりつつある中、当該世帯の経済・生活を支援することができた。
7	学生生活支援臨時交付金支給事業	①高校生以上の学生の生活を支援 ②高校生に3万円、大学(院)生・短大生・専門学校生・予備校生に5万円を支給 ③八郎潟町に在住する住民の子弟である高等学校(予備校を含む)以上の学校に在学する生徒又は学生	教育課	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.5～R2.10	10,273	10,273	学生生活支援臨時交付金 10,240,000円 高校生等：123名×3万円=3,690,000円 大学生等：131名×5万円=6,550,000円 事務費 33,271円 通知郵便料(案内、返信、支給決定)	義務教育課程を終了しなお勉学に勤しむ高校生以上の学生に対し支援金を交付することにより、対象者が学生生活を継続できる一助となった。
8	図書館パワーアップ事業	①町立図書館(1ヵ所)の蔵書を充実するとともに、図書館ホームページを立ち上げ、図書検索や一部貸出予約を行うことにより、利用者の利便性を図り、長時間にわたる館内の利用者滞留を抑制することにより、館内感染症予防対策に資する。 ③-	教育課	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R3.2～R3.3	2,762	2,762	図書購入費 1,999,482円(954冊) 図書館ホームページ制作委託料 528,000円 加湿器 234,850円(3台)	前年度に比べ、図書館利用者数で12.0%の減少、図書貸出し数で4.2%の減少に留まっている。コロナ禍にあって、様々な施設利用を控える傾向化にあって、この減少率は交付金事業の活用(新書の充実(954冊)、図書館ホームページの更新)の成果であると認識している。 図書館ホームページによる予約件数は、令和2年度(従来ホームページによる)は11件、令和3年度(ホームページ更新後)は8件となっている。利用件数は減少したものの、利便性が高まった更新後ホームページのさらなる周知により、利用件数を伸ばしていきたい。 加湿器の設置では、快適な利用環境が整ったことにより、利用者の安心度が高まった。

令和2年度 八郎潟町新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金事業評価

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	担当課	経済対策との関係	事業始期～終期	総事業費（実績）		事業実績  (円)	事業実績に基づく効果及び評価
						千円	臨時交付金充当額 千円		
9	テイクアウト、宅配推進事業	①NPO法人と若者イベント団体のコラボによる「お持ち帰り・宅配」の取り組みを支援 ②チラシ作成経費、新聞折込手数料を行政が負担 ③NPO法人1事業者	産業課	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.5 ～R2.6	100	100	周知用チラシ印刷製本費 98,175円 新聞折込手数料 1,650円	町内飲食店の利用者数が激減する中、テイクアウトや宅配といった事業への取り組みを支援した。町内のNPO法人・若者イベント団体が事業の企画や町内飲食店との連絡調整を行い、また地元郵便局が店頭に設置する「のぼり」を寄贈するなど、地域ぐるみの取り組みとなった。 本事業には2店舗が参画した。
10	必要物品供給事業	①町有施設等や町行事・事業における感染症予防対策を行う。 ②マスク、消毒液等の購入に係る経費に充当する。 ③役場庁舎、えきまえ交流館（複合施設）、農村環境改善センター、地域公民館等30カ所	総務課	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4 ～R3.3	1,630	1,630	消耗品費 合計 1,629,831円 マスク 892,650円（14,100枚） クリアパーテーション279,378円（22枚） 消毒液 431,379円（227個） アルコールタオル 14,424円 （本体5個、詰替え用1箱） フェイスシールド 9,000円（20枚） 使い捨て用手袋 3,000円（3枚）	公的施設に消毒液等の感染拡大予防対策を実施したことにより、施設利用者の感染予防に役立てられた。
11	防災対策関係事業	①自然災害が発生した場合の避難所での感染症予防対策を行う。 ②簡易型テントやパーテーションを避難所に配備し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。 ③町内避難所施設5施設（町民体育館等）	町民課	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.11 ～R2.11	5,337	5,335	避難所用備品・物品合計 5,336,780円 消毒液 97,200円（15kg/缶×15缶） ペットボトル水（衛生用） 32,400円 ガス発電機 297,000円（4個） ガス 7,700円（3本入り×10個） コードリール 17,160円（2台） 衛生用消耗品（オムツ） 30,800円 （サイズ4種類20箱・1,360枚） 折りたたみ式マット 211,200円 （16枚入り/箱×10箱） マスク 348,480円 普通サイズ100枚入れ/箱×13箱 大 50枚入れ/箱×7箱 テント 2,519,440円（160セット） 寝袋 323,400円（70枚） 毛布 462,000円（10枚/組×12組） 石油ストーブ 990,000円（50個）	避難所を開設するような災害は発生しなかったが、コロナ禍での震災等の有事に備え、避難所の衛生環境を保つための消毒液等の資材を備蓄することができた。 現在、旧小学校舎一箇所では備蓄品を集中管理し、数量等の確認をスムーズに行えるようにしている。備蓄場所から最も遠い避難所までは車で5分程度の距離であり、有事の際は本交付金で確保した運搬用軽トラックで各避難所に災害対応物品等を運ぶこととしている。

令和2年度 八郎潟町新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金事業評価

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	担当課	経済対策との関係	事業始期～終期	総事業費（実績）		事業実績  (円)	事業実績に基づく効果及び評価
						千円	臨時交付金 充当額 千円		
12	農村環境改善センター空調設備更新事業	①感染症予防対策として、芸術舞台発表の場となっている農村環境改善センターの空調設備を更新する。 ②センター内各室の換気又はエアコン設備に充当。 ③センター内の多目的ホールはじめ全7カ所	教育課	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9 ～R3.3	61,160	61,160	工事設計監理委託料 2,915,000円 空調設備更新工事請負費 58,245,000円 換気・冷房設備3カ所 換気設備3カ所 冷暖房設備1カ所	館内の空調設備を更新することにより、利用者の感染防止に役立てられた。
13	町有施設換気型エアコン設置事業	①感染症予防対策ため、町有施設に換気型エアコンを設置する。 ②換気型エアコン設備設置工事費に充当。老人憩いの家2カ所、子育て支援センター（保健センター内）	保健課	I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.1 ～R3.3	1,595	1,595	換気型エアコン設置工事 1,595,220円 子育て支援センター 566,500円（1カ所） 老人憩いの家 1,028,720円（2カ所）	施設に空調設備を設置することにより、利用者の感染防止に役立てられた。
14	GIGAスクール端末導入事業	①国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現。 ②児童生徒数1/3は地方財政措置で事業を進める。 ③町内小中併設校1校	教育課	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.9 ～R3.3	13,080	13,080	八郎潟小中学校情報機器整備事業 総事業費22,754,600円 のうち交付金対象 13,079,600円 ・3人に1台分のうち未整備分 @94,050円×17台=1,598,850円 ・3人に2台分について国からの定額補助 (45,000円/台)への上乘せ分 (小学校分) @49,050円×130台= 6,376,500円 (中学校分) @60,050円×85台= 5,104,250円	小・中学校の児童生徒1人1台のPC端末保有を実現でき、多様な学習形態のハード面における環境整備が整った。 宿題ソフトの利用や生徒児童の自発的なPC操作が実施できるよう、学校の長期休業時にはPC端末機を家庭へ持ち帰る取り組みを実施している。 リモート遠隔授業はまだ未実施であるが、コロナ感染拡大による臨時休校時の学習に向けた支援を進めるため、教師のスキルアップや計画的な端末PCの有効活用を進める。
15	選挙投票所感染症予防対策事業	①選挙投票所での感染症予防対策を徹底し、適正な選挙が執行されることを目的とする。 ②感染症予防対策用備品に充当 ③期日前投票所1カ所、投票日投票所1カ所（会場同一）	総務課	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8 ～R2.8	705	705	A I 体温測定器 704,550円（1台）	令和2年8月執行の八郎潟町長選挙をはじめとする選挙投票所（期日前投票所と同一）の入り口にA I 体温測定器を設置した。体温が基準値以上の有権者には、投票所内の別記載台で投票用紙に記入することとし、適正な選挙が執行されることを目的とした。基準値以上の体温が測定された有権者はいなかったものの、コロナ禍においても投票事務が混乱なく遂行され、また投票者の安心を確保することができた。

令和2年度 八郎潟町新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金事業評価

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	担当課	経済対策との関係	事業始期～終期	総事業費（実績）		事業実績 (円)	事業実績に基づく効果及び評価
						千円	臨時交付金充当額 千円		
16	町民健康診断感染症予防対策事業	①町民の健康診断における感染症予防対策を講じ、町民が安心して健診を受けることができる環境を整える。 ②体温測定器や健診事務従事者のフェースシールド等に充当。 ④健診事務従事者及び健診受診者	保健課	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9 ～R3.3	1,280	1,280	感染対策備品、消耗品 総額 1,279,872円 AI体温測定器 886,600円（4台） フェイスシールド 55,000円 （5枚入り20セット） 同 詰め替え用 28,292円（474個） 非接触型体温計 52,800円（4本） 〃（乳幼児用） 14,960円（2本） 電子体温計 82,500円（30本） ラテックスグローブ 8,580円 M・Lサイズ100枚入り計3箱 ディスペンサー（液体定量吐出装置） 9,900円（1個） 消毒用マルチスタンド 7,040円 手指消毒剤 35,200円（10個／1㊦） 防護服セット（公共施設消毒用） 66,000円（5セット） AI体温測定器転倒防止板 33,000円（3台）	令和2年度の町集団検診はコロナ禍のため、特定健康診査（基本健康検査）・子宮頸がん検診・乳がん検診は個別医療機関方式で実施した。他がん検診は集団にて感染対策を講じながら実施した。 次年度以降の町集団検診にもつながるよう、検診会場となる保健センターに感染予防物品等を備えることができた。 感染リスクの軽減体制が整ったことにより、受診者の検診会場での感染リスク不安の払拭に寄与できた。
17	子ども・子育て支援交付金	①小学校の臨時休校に、共働き家庭など留守家庭の留守番をすることが困難な児童を対象に開所し、子どもの居場所を確保する。 ②小学校の臨時休校に伴う臨時開所に係る学童支援員及び指導員賃金 ③交付対象者：学童保育支援員及び指導員 対象施設：児童厚生施設（中央児童館）	福祉課	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.4 ～R3.2	122	42	学童支援員追加賃金 122,106円 R2年4月・5月分の11日間分 学童保育支援員計7名（延べ76人日分）	小学校の相次ぐ臨時休校に伴い、学童保育を開設したことにより、保護者が仕事等で不在の児童の居場所を確保できた。 小学校臨時休校に伴う学童保育の利用は、登録者121人のうち45.5%にあたる55人（延べ317人）であった。
18	障害者総合支援事業費補助金	（特別支援学校の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業） ①特別支援学校の臨時休業に伴い、保護者が仕事を休めない世帯において放課後デイサービスの利用が増えたことによる利用者負担増に対する経済的支援を行う。 ②放課後等デイサービスの利用者に対する補助 ③学校臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用者負担額が増加した利用者	福祉課	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.4 ～R2.5	2	1	対象者1名、6日間利用 利用者負担分 2,483円	特別支援学校の臨時休校に伴い、放課後デイサービスを実施したことにより、保護者が仕事を休めない子ども（1名）の支援につながった。

令和2年度 八郎潟町新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金事業評価

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	担当課	経済対策との関係	事業始期～終期	総事業費（実績）		事業実績 (円)	事業実績に基づく効果及び評価
						千円	臨時交付金充当額 千円		
19	公立学校情報機器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①臨時休校等の緊急時に学校と児童生徒が円滑にやりとりを行うために、学校が使用するカメラやマイクなどの通信装置等を整備し、ICTの活用により緊急時にも子どもたちの学びを保証する。 ②カメラ、マイク、同々付属品 ③八郎潟小中併設校（小・中学校各1校）	教育課	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.10 ～R3.1	70	39	情報機器備品、消耗品 合計69,960円 Webカメラ 45,320円 (2個) 三脚 9,240円 (2個) USBマイクロホン 8,360円 (2個) USBスピーカー 7,040円 (2個)	GIGAスクール構想の実現を目指した小・中学校の児童生徒1人1台のPC端末保有の実現とともに、リモート授業を含めた多様な学習形態が可能となるよう、パソコン利用の周辺機器を整備できた。
20	スクールバス運行環境改善事業	①町で行うスクールバスの1系統について、これまで乗車運賃が発生する一般旅客運送事業による一般町民との混乗形式でバス事業者に運行を委託していた。今回、一般町民との混乗を認めない専用のスクールバスを運行することにより、感染症リスクを低減することを目的にバスを購入する。運行に当たっては、感染予防の対策をとった車両運行環境を整える。 ②スクールバスの購入 ③スクールバス利用の小学生児童	教育課	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R3.2 ～R3.3	8,868	8,868	車両購入費 8,580,000円 スタッドレスタイヤ 287,760円	一般町民との混乗形式でバス事業者に運行を委託していたスクールバス（全2系統）のうち1系統について、令和3年9月から一般町民との混乗を認めない専用のスクールバスを運行している。児童の感染症リスクを大幅に低減することができた。全児童数181人のうちバス利用児童数は38人（21%）であり、本専用スクールバス利用者はそのうち27人（バス利用者の71%）である。保護者からは大変喜ばれている。
21	災害時備蓄品運搬及びイベント時における感染症予防対策事業	①避難所開設時に必要となる感染症予防対策用品等の物資が増加している。災害備品格納庫（未利用小学校校舎）に一括収納し集中管理体制を敷くこととしているが、災害発生時にこれら感染症予防対策用品を各避難所へ運搬するため、一般職員が運転できる軽トラック車両を確保するものである。なお、災害がない平時では、屋外や町公共施設にて行われる町イベントや各種行事における感染症対策備品等の搬入として使用する。 ②感染症予防対策用品運搬車両の購入（AT軽トラック車） ③災害時：町内避難所施設5施設（町民体育館等） 平時：各種イベント・行事会場及び感染症対策備品を常設している公共施設等	総務課	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.2 ～R3.3	2,013	2,013	車両購入費 2,013,370円（AT2台） （スタッドレスタイヤ60,000円を含む）	避難所開設時には、職員がそれぞれの災害対応にあたるため、職員の誰もが運転できるAT仕様の運搬車両が求められていた。 災害備蓄品は、旧小学校舎一箇所で集中管理し、数量等の確認をスムーズに行えるようにしている。備蓄場所から最も遠い避難所までは車で5分程度の距離であり、運搬用軽トラックで各避難所に災害対応物品等を運搬することとしている。 平時には、各種行事実施会場に感染症対策備品・物品を運んだり、公共施設等への日常的な感染予防物品（消毒液等）に運搬に利用している。

令和2年度 八郎潟町新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金事業評価

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	担当課	経済対策との関係	事業始期～終期	総事業費（実績）		事業実績  (円)	事業実績に基づく効果及び評価
						千円	臨時交付金 充当額 千円		
22	児童学習環境等事業	①本町小中併設校及び学童保育における児童の学習環境について、教室や特別教室等に感染症予防を目的とした加湿空気清浄機を整備し、感染症予防を行う。 ③八郎潟小中併設校、児童館（学童保育実施場所）	教育課	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.2 ～R3.3	1,496	1,496	加湿空気清浄機 1,496,000円（34台）	<p>これまでは換気を行うためにドアや窓を開放していたが、冬場には冷たい乾燥した空気が部屋に流れ込んでいた。加湿器を利用することで適度な湿度を保ちながらの換気が可能となった。</p> <p>小中併設校の全教室及び学童保育を実施する中央児童館の各部屋に機器を設置したことにより、児童生徒の快適な学習環境の場を確保できた。</p>